

就労している若年女性の健康に関する調査：産業医、産業看護師、産業保健師版

0. トークン

郵送したトークンをご記入ください。 _____

1. 従業員の健康問題

Q1. 過去1年間における健康問題の有無

この1年間、あなたがお勤めの法人の従業員に以下のような健康問題を有する方はいらっしゃいましたか。各口内について、当てはまる選択肢一つに○をつけてください。

	全年代	20歳代、30歳代の女性 (特定健診の対象となる前)
1. 喫煙に関連した疾患（脳血管疾患、心疾患、肺疾患、代謝疾患など）や健康問題	1. いた 2. いなかった 3. わからない	1. いた 2. いなかった 3. わからない
2. 飲酒に関連した疾患（脳血管疾患、心疾患、消化器疾患、代謝疾患など）や健康問題	1. いた 2. いなかった 3. わからない	1. いた 2. いなかった 3. わからない
3. 肥満（BMIにして25以上）およびその関連した疾患（糖尿病等の代謝疾患、脳血管疾患、心疾患など）や健康問題	1. いた 2. いなかった 3. わからない	1. いた (Q1-1-1. へ) 2. いなかった (Q1-1-4. へ) 3. わからない (Q1-1-4. へ)
4. 体型維持や痩身のための過剰な努力（食事制限や過剰な運動）による体調不良	1. いた 2. いなかった 3. わからない	1. いた (Q1-2-1. へ) 2. いなかった (Q1-2-4. へ) 3. わからない (Q1-2-4. へ)
5. 過重労働に伴う体調不良	1. いた 2. いなかった 3. わからない	1. いた 2. いなかった 3. わからない
6. 十分な睡眠・休養が取れていないことに伴う体調不良	1. いた 2. いなかった 3. わからない	1. いた 2. いなかった 3. わからない
7. メンタルヘルスの問題	1. いた 2. いなかった 3. わからない	1. いた 2. いなかった 3. わからない
8. 妊娠出産を希望しているが妊娠できない（不妊） 男性と女性にかかわらずお答えください	1. いた 2. いなかった 3. わからない	1. いた (Q1-3-1. へ) 2. いなかった (Q1-3-4. へ) 3. わからない (Q1-3-4. へ)
9. 月経等、女性特有の身体的な健康問題	1. いた 2. いなかった 3. わからない	1. いた (Q1-4-1. へ) 2. いなかった (Q1-4-4. へ) 3. わからない (Q1-4-4. へ)
10. その他、事業内容や労働環境に関連した健康問題	1. いた 2. いなかった 3. わからない	1. いた 2. いなかった 3. わからない

こちらは、Q1の「3. 肥満（BMIにして25以上）およびその関連した疾患（糖尿病等の代謝疾患、脳血管疾患、心疾患など）や健康問題」について、20歳代、30歳代の女性で該当する健康問題を有する従業員が「1. いた」と回答した場合にお答えください。「2. いなかった」、「3. わからない」と回答された場合はQ1-2-1. へお進みください。

Q1-1-1. 従業員の健康問題・COVID-19による増減（肥満）

該当する健康問題（肥満（BMIにして25以上）およびその関連した疾患（糖尿病等の代謝疾患、脳血管疾患、心疾患など）や健康問題）を有する従業員（20歳代、30歳代の女性）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、増減がみられましたか。当てはまる選択肢一つを選んでください。

- | | | | |
|--------|----------------|---------|----------|
| 1. 増えた | 2. 増えも減りもしていない | 3. 減少した | 4. わからない |
|--------|----------------|---------|----------|

Q1-1-2. 従業員の健康問題について取り得る対応方法（肥満）

該当する健康問題（肥満（BMIにして25以上）およびその関連した疾患（糖尿病等の代謝疾患、脳血管疾患、心疾患など）や健康問題）を有する従業員（20歳代、30歳代の女性）について、どのような対応を取ることが可能でしょうか。当てはまる選択肢すべてを選んでください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような対応が可能かを想定してお答えください。

1. 衛生委員会又は安全衛生委員会での検討
2. 健康問題に対応するための計画策定
3. 対応する担当者の選任
4. 従業員への情報提供
5. 従業員が教育研修を受ける機会の確保（貴法人内の実施でも、外部のプログラムの受講でも可）
6. 管理者対象の情報提供
7. 管理者対象の教育研修を受ける機会の確保（貴法人内の実施でも、外部のプログラムの受講でも可）
8. 産業保健スタッフ（産業医、産業看護師など）への教育研修
9. 健康問題を把握するための仕組み作り
10. 健診データなどを用いた現状の把握
11. 休職する必要の生じた労働者へのサポート
12. 産業保健スタッフ（産業医、産業看護師など）による相談対応
13. 医療機関受診の勧奨
14. 専門医療機関への連携
15. 地域産業保健センターの活用
16. 産業保健総合支援センターの活用
17. 上記のいずれの対応も取ることができない
18. その他（）

こちらは、Q1 の「4. 体型維持や痩身のための過剰な努力（食事制限や過剰な運動）による体調不良」いわゆる「やせ」にまつわる問題について、20 歳代、30 歳代の女性で該当する健康問題を有する従業員が「1. いた」と回答した場合にお答えください。「2. いなかった」、「3. わからない」と回答された場合は Q1-3-1. へお進みください。

Q1-2-1. 従業員の健康問題・COVID-19による増減（やせ）

該当する健康問題（体型維持や痩身のための過剰な努力（食事制限や過剰な運動）による体調不良）を有する従業員（20 歳代、30 歳代の女性）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、増減がみられましたか。当てはまる選択肢一つを選んでください。

1. 増えた 2. 増えも減りもしていない 3. 減少した 4. わからない

Q1-2-2. 従業員の健康問題について取り得る対応方法（やせ）

該当する健康問題（体型維持や痩身のための過剰な努力（食事制限や過剰な運動）による体調不良）を有する従業員（20 歳代、30 歳代の女性）について、どのような対応を取ることが可能でしょうか。当てはまる選択肢すべてを選んでください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような対応が可能かを想定してお答えください。

1. 衛生委員会又は安全衛生委員会での検討
2. 健康問題に対応するための計画策定
3. 対応する担当者の選任
4. 従業員への情報提供
5. 従業員が教育研修を受ける機会の確保（貴法人内の実施でも、外部のプログラムの受講でも可）
6. 管理者対象の情報提供
7. 管理者対象の教育研修を受ける機会の確保（貴法人内の実施でも、外部のプログラムの受講でも可）
8. 産業保健スタッフ（産業医、産業看護師など）への教育研修
9. 健康問題を把握するための仕組み作り
10. 健診データなどを用いた現状の把握
11. 休職する必要の生じた労働者へのサポート
12. 産業保健スタッフ（産業医、産業看護師など）による相談対応
13. 医療機関受診の勧奨
14. 専門医療機関への連携
15. 地域産業保健センターの活用
16. 産業保健総合支援センターの活用
17. 上記のいずれの対応も取ることができない
18. その他（ ）

Q1-2-3. 従業員の健康問題への対応で感じる困難（やせ）

該当する健康問題（体型維持や痩身のための過剰な努力（食事制限や過剰な運動）による体調不良）を有する従業員（**20 歳代、30 歳代女性**）について、対応を行う上でどのような点が難しいと感じていらっしゃいますか。当てはまる選択肢すべてを選んでください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような点に困難が生じているかを想定してお答えください。

1. 該当者から話を聞き、対応していくのにふさわしいスタッフがない
2. 該当者の健康問題について対応する部署内で目標を共有することが難しい
3. 他に対応するべき健康問題が多く、十分に検討するゆとりがない
4. 該当者と意思疎通は可能だが、目標を共有することが難しい
5. 該当者との意思疎通が困難なため、十分に対応ができない
6. 医療機関を紹介するべきかどうかで悩む
7. 医療機関を紹介したくても、どの医療機関を紹介すれば良いのかわからない
8. 適切な関わり方がわからない
9. 問題が顕在化したときにはすでに対応が困難な状況となっている
10. 難しいと感じている点はない
11. その他（

Q1-2-4. 健康問題について「いなかった」「わからない」と回答した理由（やせ）

体型維持や痩身のための過剰な努力（食事制限や過剰な運動）による体調不良について、20 歳代、30 歳代女性に関する質問で「いなかった」、「わからない」と回答した方に伺います。そのように回答された理由として当てはまる選択肢すべてを選んでください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような状況にあるかを想定してお答えください。

1. 話題になることがない/ほとんどない
2. 考えたことがない/ほとんどない
3. 他の優先するべき健康問題が多い
4. 十分に把握ができていない
5. その他（

こちらは、Q1 の「8. 妊娠出産を希望しているが妊娠できない（不妊）」について、20 歳代、30 歳代の女性で該当する健康問題を有する従業員が「1. いた」と回答した場合にお答えください。「2. いなかった」、「3. わからない」と回答された場合は Q1-4-1. へお進みください。

Q1-3-1. 従業員の健康問題・COVID-19による増減（不妊）

該当する健康問題（妊娠出産を希望しているが妊娠できない（不妊））を有する従業員（20歳代、30歳代の女性）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、増減がみられましたか。当てはまる選択肢一つを選んでください。

1. 増えた 2. 増えも減りもしていない 3. 減少した 4. わからない

Q1-3-2. 従業員の健康問題について取り得る対応方法（不妊）

該当する健康問題（妊娠出産を希望しているが妊娠できない（不妊））を有する従業員（20歳代、30歳代の女性）について、どのような対応を取ることが可能でしょうか。当てはまる選択肢すべてを選んでください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような対応が可能かを想定してお答えください。

1. 衛生委員会又は安全衛生委員会での検討
2. 健康問題に対応するための計画策定
3. 対応する担当者の選任
4. 従業員への情報提供
5. 従業員が教育研修を受ける機会の確保（貴法人内の実施でも、外部のプログラムの受講でも可）
6. 管理者対象の情報提供
7. 管理者対象の教育研修を受ける機会の確保（貴法人内の実施でも、外部のプログラムの受講でも可）
8. 産業保健スタッフ（産業医、産業看護師など）への教育研修
9. 健康問題を把握するための仕組み作り
10. 健診データなどを用いた現状の把握
11. 休職する必要の生じた労働者へのサポート
12. 産業保健スタッフ（産業医、産業看護師など）による相談対応
13. 医療機関受診の勧奨
14. 専門医療機関への連携
15. 地域産業保健センターの活用
16. 産業保健総合支援センターの活用
17. 上記のいずれの対応も取ることができない
18. その他（ ）

Q1-3-3. 従業員の健康問題への対応で感じる困難（不妊）

該当する健康問題（妊娠出産を希望しているが妊娠できない（不妊））を有する従業員（**20 歳代、30 歳代女性**）について、対応を行う上でどのような点が難しいと感じていらっしゃいますか。当てはまる選択肢すべてを選んでください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような点に困難が生じているかを想定してお答えください。

1. 該当者から話を聞き、対応していくのにふさわしいスタッフがない
2. 該当者の健康問題について対応する部署内で目標を共有することが難しい
3. 他に対応するべき健康問題が多く、十分に検討するゆとりがない
4. 該当者と意思疎通は可能だが、目標を共有することが難しい
5. 該当者との意思疎通が困難なため、十分に対応ができない
6. 医療機関を紹介するべきかどうかで悩む
7. 医療機関を紹介したくても、どの医療機関を紹介すれば良いのかわからない
8. 適切な関わり方がわからない
9. 問題が顕在化したときにはすでに対応が困難な状況となっている
10. 難しいと感じている点はない
11. その他（

Q1-3-4. 健康問題について「いなかった」「わからない」と回答した理由（不妊）

妊娠出産を希望しているが妊娠できない（不妊）という健康問題について、**20 歳代、30 歳代女性**に関する質問で「いなかった」、「わからない」と回答した方に伺います。そのように回答された理由として当てはまる選択肢**すべて**を選んでください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような状況にあるかを想定してお答えください。

1. 話題になることがない/ほとんどない
2. 考えたことがない/ほとんどない
3. 他の優先するべき健康問題が多い
4. 十分に把握ができていない
5. その他（

こちらは、Q1 の「9. 月経等、女性特有の身体的な健康問題」について、20 歳代、30 歳代の女性で該当する健康問題を有する従業員が「1. いた」と回答した場合にお答えください。「2. いなかった」、「3. わからない」と回答された場合は Q2. へお進みください。

Q1-4-1. 従業員の健康問題・COVID-19 による増減（女性特有の問題）

該当する健康問題（月経等、女性特有の身体的な健康問題）を有する従業員（20 歳代、30 歳代の女性）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、増減がみられましたか。当てはまる選択肢一つを選んでください。

1. 増えた 2. 増えも減りもしていない 3. 減少した 4. わからない

Q1-4-2. 従業員の健康問題について取り得る対応方法（女性特有の問題）

該当する健康問題（月経等、女性特有の身体的な健康問題）を有する従業員（20 歳代、30 歳代の女性）について、どのような対応を取ることが可能でしょうか。当てはまる選択肢すべてを選んでください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような対応が可能かを想定してお答えください。

- [illegible]

Q1-4-3. 従業員の健康問題への対応で感じる困難（女性特有の問題）

該当する健康問題（月経等、女性特有の身体的な健康問題）を有する従業員（20 歳代、30 歳代女性）について、対応を行う上でどのような点が難しいと感じていらっしゃいますか。当てはまる選択肢すべてを選んでください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような点に困難が生じているかを想定してお答えください。

1. 該当者から話を聞き、対応していくのにふさわしいスタッフがない
2. 該当者の健康問題について対応する部署内で目標を共有することが難しい
3. 他に対応するべき健康問題が多く、十分に検討するゆとりがない
4. 該当者と意思疎通は可能だが、目標を共有することが難しい
5. 該当者との意思疎通が困難なため、十分に対応ができない
6. 医療機関を紹介するべきかどうかで悩む
7. 医療機関を紹介したくても、どの医療機関を紹介すれば良いのかわからない
8. 適切な関わり方がわからない
9. 問題が顕在化したときにはすでに対応が困難な状況となっている
10. 難しいと感じている点はない
11. その他（

Q1-4-4. 健康問題について「いなかった」「わからない」と回答した理由（女性特有の問題）

月経等、女性特有の身体的な健康問題について、20 歳代、30 歳代女性に関する質問で「いなかった」、「わからない」と回答した方に伺います。そのように回答された理由として当てはまる選択肢すべてを選んでください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような状況にあるかを想定してお答えください。

1. 話題になることがない/ほとんどない
2. 考えたことがない/ほとんどない
3. 他の優先するべき健康問題が多い
4. 十分に把握ができていない
5. その他（

2. 従業員の健康に関連した対策

Q2. 従業員の健康に関連した対策に関する困難感

この 1 年間、以下の事項について、業務を遂行する上での困難を感じることはありましたか。当てはまる選択肢すべてに○をつけてください。なお、「あった」場合は、その具体的な内容について差し支えない範囲でお答えください。回答者ご自身のみではなく、組織としてどのような困難が生じているかを想定してお答えください。

1. 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策（ワクチン接種以外）

--

2. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種

--

3. 新型コロナウイルス感染症以外の感染予防対策（ワクチン接種以外）

--

4. 新型コロナウイルス感染症以外のワクチン接種

--

5. がん検診

--

6. がんに罹患した従業員の治療機会の保障

--

7. 性的・文化的な多様性への配慮

--

8. その他

--

9. 困難を感じることはなかった

3. 回答者の属性

回答された方ご自身について回答をお願いします。

Q3. 性別

1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
-------	-------	----------

Q4. 年代

1. 20 歳代	2. 30 歳代	3. 40 歳代	4. 50 歳代	5. 60 歳代	6. 70 歳代以上	7. 回答しない
----------	----------	----------	----------	----------	------------	----------

Q5. 医療系資格の有無（複数回答）

1. 医師	2. 看護師	3. 保健師	4. その他（	）	5. 医療系資格は有していない
-------	--------	--------	---------	---	-----------------

Q6. 産業保健職への従事および労働安全衛生関連職位の有無（複数回答）

1. 産業医	2. 産業看護師	3. 産業保健師	4. 衛生管理者	5. 安全管理者
6. その他（	）	7. 上記職位には就いていない		

Q7. 保健事業担当の有無

過去 1 年間に、お勤めの法人の従業員を対象とした保健事業（健康相談や健康診査）を担当されましたか？

1. 担当したことがある （→Q8 へ）	2. 担当したことはない （→Q9 へ）
----------------------	----------------------

Q8. 担当した保健事業における対象

（上記で「1. 担当したことがある」と回答された方に伺います。「2. 担当したことがない」場合は、Q9 へ進んでください）その保健事業の対象に 20 歳代、30 歳代の女性は含まれていましたか。

1. 含まれていた	2. 含まれていなかった
-----------	--------------

4. 貴組合の情報および加入している事業所の属性

Q9. 専任か兼任か

以下のうち、該当する選択肢を一つ選んで下さい。

1. 専任	2. 兼任	3. その他（ ）
-------	-------	--------------------------------

Q10. 業種

お勤めの法人についてご回答ください。複数の法人の従業員が従業員となる場合や、一つの法人が複数の業種に該当する場合は、主たる業種を一つだけ選んで下さい。

1. 農業、林業	2. 鉱業、採石業、砂利採取業	3. 建設業	4. 製造業
5. 電気・ガス・熱供給・水道業	6. 情報通信業	7. 運輸業、郵便業	
8. 卸売業、小売業	9. 金融業、保険業	10. 不動産業、物品賃貸業	
11. 学術研究、専門・技術サービス業	12. 宿泊業、飲食サービス業		
13. 生活関連サービス業、娯楽業	14. 教育、学習支援業	15. 医療、福祉	
16. 複合サービス事業	17. サービス業(他に分類されないもの)」	18. その他	

Q11. 従業員数

担当している法人の常用労働者数についてお答えください。総合健康保険組合の場合は、合計の人数をお書き下さい。お分かりにならない場合は、おおよその人数で構いません。

_____ 百人

5. 今後の調査研究への協力および研修受講の意向

Q12. インタビュー調査への協力意向（複数回答）

当研究班では、今回伺った内容について、更にインタビュー等を行い、就労している若年女性の健康問題に関する調査を行っていく予定です。また、研修等を通じて健康問題の啓発やサポートに取り組んでいきたいと考えています。つきましては、そのような調査や研修にご協力をいただけるかどうか、現時点でのご意向をお知らせください（組織としての正式な回答をいただくのではなく、あくまで回答して下さっている方ご自身の、現在のご意向で構いません。）

1. （本調査のような）質問紙調査に協力できる
2. インタビュー調査に協力できる
3. 研修が行われるのであれば参加を検討したい
4. いずれも難しい

Q13. 上記設問で、「1. （本調査のような）質問紙調査に協力できる」、「2. インタビュー調査に協力できる」、「3. 研修が行われるのであれば参加を検討したい」のいずれかの回答を選択された場合、差し支えなければ、ご連絡先をお書きください。

氏名	
メールアドレス	
電話番号	

6. 本調査に関連してお感じになった内容をお書き下さい。

--